

会 議 録

作成日 令和6年9月26日

日	令和6年9月26日(木)	時間	13:30～15:00	場所	糸魚川市役所 201、202 会議室
会議名	第2回 糸魚川市子ども・子育て会議				
内容	議事 (1) 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定について				
出席者	【委員出席者】 10人 山本(裕)会長、松本副会長 伊藤委員、陸川委員、山本(悠)委員、中村委員、清水委員、山田委員、藤田委員 井伊委員、 【委員欠席者】 小野委員、室川委員、神田委員、黒坂委員 【事務局】(教育委員会事務局) 5人 山本教育次長 室橋こども課長 田村課長補佐 飛弾野係長 能登主査				
	傍聴者定員	一人		傍聴者数	0人

会議要旨

1	開 会	教育次長
2	議 題	
	(1) 令和6年度「子ども・子育て支援事業計画」の策定について	
	○資料1-1について	
	(委員) 満足度が中間期で下がった理由はあるか？	
	(市) こども医療費の助成などの施策を積み重ねるなかで、第2期まで満足度は上がってきていた。様々な要因が考えられるが、令和4年8月のアンケートの直前に、総合病院の産科の分娩停止となったことの影響が大きいと考えている。	
	(委員) 令和4年度のアンケートはどのようなものか。	
	(市) 計画の基礎アンケートとして、小学生までのすべての保護者を対象に実施。内容はアンケート比較もしたいことから大きく変えていない。	
	(委員) 満足度をあげていくためには、アンケートの不満足の人意見を改善することが近道でないか。	
	(市) 量の見込みを調べるアンケートを主として、他のご意見等をお聞きしている状況で、回答者の意見分析などでもできる状況だが、分析の内容そのものが誘導的にならないように努めたい。満足、不満足の指標そのものが適切かという点も、今後、検討の余地はある。	
	(委員) 未達成で悪いのではなく、見直しの良いタイミングと捉えてほしい。	
	(市) 多くの皆さんの声が大切と思うので、バランスをみて施策を検討したい。	
	○資料1-2	
	(委員) 医療費と保育料の負担感は低くなっている。	
	(市) 医療費は、昨年の秋から無料化としている。	

○資料 1－3

意見なし

○資料 1－4

(委員) 50 通学支援について、自分の子どもが月 500 円を支払っているのはこの事業か。

(市) 50 通学支援は定期券無料。ご意見の制度は、公共交通の利用促進を目的とした半年で 3,000 円のこどもフリーパスの制度。

(委員) 義務教育において不登校の子どもが多くなってきていると聞く。別の会で安塚のフリースクールを視察してきたが、子どもが通学するのに月 20 万円かかるというので、そこに通う子ども達への支援制度なども検討してはどうか。

(市) 59 番の教育相談員の配置の相談、支援のところに該当してくるかと思うが、市では学びの多様化の検討を始めており、施設の設置を含めて検討している。

(市) 資料は事業一覧表だが、事業目標などを設定していくなかで、不登校に関する記載も検討したい。

(委員) 自身や知り合いの経験から、不登校の児童・生徒に定期券でなく回数券補助なども良いと思う。

(市) そのような方向も考えていかなければならないと思うが、実態として、家庭の車でなく、公共交通を利用して通学できるのかという点を含めて考えていきたい。

(委員) 市内全域をバスで走れる制度があったかと思うが今もあるか。

(市) こどもフリーパスで、半年で 3,000 円。

(委員) フリーパスを子どもの習い事などで使えばいいなと思っていたが、バス停があっても、習い事の時間に合うバスがなかったことは残念だった。

(委員) 子どもが行きたいと思った時が、一番良いタイミングと思う。

(市) バス路線の時間等のご意見は、所管課に伝えたい。

(委員) 14 学童保育（児童クラブ）を利用している。利用料金が高く、児童クラブのために働いている感が強い。もう少し軽減できないか。

(市) 利用料金の負担軽減も重要と考えている。現在、基本的に 1 回 600 円、月 6,000 円を上限としている。おやつ代等の実費分の負担としてお願いしているが、様々な子育て支援策が各市町村で進んで無料としているところもあり負担軽減を検討したい。

(委員) ぜひ、他市町村から糸魚川に来られた方の意見を大切にしてもらいたい。

(委員) 都市部では保育料の無償化なども進んでいるし、様々な支援策を拡充していく必要があると思う。

(市) 学童保育の利用料は従前から課題と考えている。より子育てしやすい糸魚川にしたいと考えている。

(委員) 給食費無償化も毎回検討してほしいと言っているが、さらに前向きに検討してほしい。こども誰でも通園制度の情報などもあれば教えてほしい。

(市) こども誰でも通園制度について、令和 8 年度の本格実施の予定。新潟県では試行で新潟市、南魚沼市、見附市、上越市の 4 市で実施しており、想定よりも利用者が少ないと聞いている。目的は待機児童の解消というところから始まっているが、月 10 時間という制約のなかで園が預かれる制度だが、一時預かり事業とどのように違うのか、保育士の確保など難しいところなど課題も多いと聞いている。

(委員) 子どもの人権を守るための通園制度とも聞いている。

(委員) 109 の親子の食育教室はどのような形で見直しているか。

(市) 109 の親子の食育教室は、コロナ禍において事業を休止し、実施の予定がないことから、第3期計画への記載を取りやめたい考え。

(委員) 早寝早起きおいしい朝ごはんをはじめとする食の事業は拡充してほしい。

(市) 107 保育園幼稚園健康教室、110 キッズキッチンなどの事業は推進していく。学校給食においても、食育の活動を進めている。

(委員) 出産時タクシーと宿泊費助成について聞きたい。

(市) 出産時タクシーは交通手段がない人に支援する制度で、これまでのところ利用はない。宿泊費の助成は、本人のほかご家族の付き添い者が病院近くのホテルに泊まる利用となる。

(2) その他

(委員全員) = その他、意見なし =

(市) 次回以降の開催について、次回は11月27日を予定。最終の計画案に近いものを提出したい。11月の後はパブリックコメント、来年3月にはパブリックコメントを反映した計画をもって第3期計画を策定としたい。

閉 会